

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立十一屋小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒921-8106
石川県金沢市十一屋町3番45号
E-mail jyuuichiya-e@kanazawa-city.ed.jp
Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 214名 女子 184名 合計 398名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～ 12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校では、「人と地域を大切にし、共につながり合おう！～十一屋、金沢の魅力発信！！～」を学校テーマとし、ESDを環境・人・伝統や文化について持続可能な社会の構築を実現するための学習と捉え、ESDの実践を通して地域の伝統や文化を尊重する力や多面的かつ総合的に物事を捉え、思考する力の育成を目標とした。

具体的には、十一屋校区や金沢にある様々な素材と関わりながら、①伝統文化に係わる活動、②地域の環境や魅力に係わる活動、③福祉に係わる活動を行った。

①伝統文化に係わる学習

1年生では「金沢の伝承遊びを楽しもう」をテーマに地域の昔遊びの名人を招いて技やこつを教えてもらった。また、金沢の伝承遊び旗源平の遊び方も習い、一緒に遊びを楽しんだ。遊びの体験のみで終わるのではなく、地域の方とふれあういい経験にもなった。

また、3年生では「金沢の伝統を知ろう」をテーマに茶の湯文化の息づく金沢市の和菓子作りに目をむけ、校区で和菓子店を営業している方にスポットを当て、製造工程や、和菓子の種類や和菓子づくりにかける思いを知ることができた。

②地域の環境や魅力に係わる学習

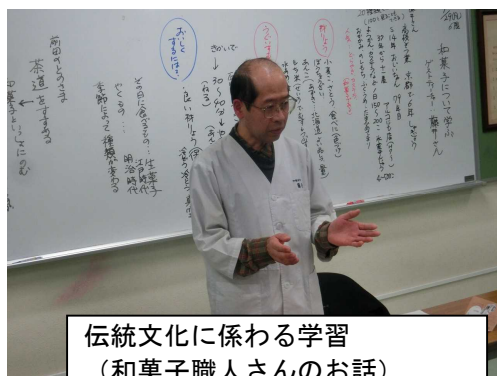
2年生は「十一屋博士になろう」をテーマに校区内のお気に入りの場所や遊んで楽しかった公園などを伝え合ったり、各地域の写真をもとに、詳しく知っている場所やそこにいる人、ものについて絵と文で表したりした。

5年生は「平栗の未来を考えよう」をテーマに校区の一番遠い場所にある平栗を訪れ、ギフチョウやカタクリを探したり、町会長さんから、昔の分校の話や平栗の自然を守り、他の地域の人に訪れてもらうための努力について具体的な話を聞かせていただいたりして、平栗に住んでいる人の気持ちを大切に、学習を進めることができた。

6年生は「金沢の魅力再発見！」をテーマに金沢の歴史や文化について学んだ後で、秋の遠足『金沢城下町ウォーク』では、名所の取材を行い、魅力あふれるパンフレットを作成することができた。

③福祉に係わる学習

4年生は「地域の高齢者の方と交流し、よさを学ぼう。伝えよう。」をテーマに福祉の意味について考え、地域の高齢者の方に運動会の招待状を渡したり、地域の高齢者の方を招いた秋の交流会を行ったりして、どんなことをしたら喜んでもらえるか、楽しんでもらえるかを考えることができた。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

- ・ のびゆく金沢
- ・ 金沢紹介／金沢市観光ガイドブック
- ・ 金沢紹介／金沢市観光マップ

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

各学年の生活科や総合的な学習の時間の年間を通してのテーマとして環境・人・伝統や文化について持続可能な社会の構築を実現するための学習を位置付けて、ユネスコスクールとしての活動を行っている。各学年の学習履歴や制作物や資料の掲示、集会での発表を行い、学習内容の交流を行い、学習内容を他学年へと広めると共に、年度末には各学年で学習のまとめの文章を作成し、次年度への改善点を明確にしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

各学年の教育課程のファイルの中の総合的な学習の時間の年間指導計画に、ESDカレンダーを添付し、他教科との関連づけが分かりやすくなるようにしている。ESDカレンダーには他教科の単元名、指導時期を示し、テーマごとに色分けをしながら年間の学習の見通しがもてるようにしている。また、ESDカレンダーについては、年度ごとに見直しを行い、学習の履歴を残すと共に、新年度により多面的に学習に取り組めるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

各学年の教育課程に位置づけ、年度当初にユネスコスクールとしての意義や取り組みの目的を職員で共通理解している。学期ごとに行われる児童アンケートや教職員アンケートにも「金沢ふるさと学習」に関する項目を設定し、指導や学習の様子を把握している。児童も職員も90%以上が指導、学習できていると答えている一方で、教職員のアンケートからは、後半の取り組みが十分にできていないという結果も見られたので、年間を通しての継続的な指導が課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ユネスコスクール子どもサミットに向けて代表児童が、4年生の福祉に係わる学習や6年生の金沢の伝統文化に係わる学習を中心に模造紙にまとめ、発表する準備をした。大雪のため、今年度は子どもサミットが中止となってしまったため、高学年を対象に校内発表会を行ったのち、児童玄関に発表模造紙を掲示して他学年に取り組みを広めた。また、発表模造紙に関しては、教育委員会を通じて市内の図書館に展示を行った。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

大学やESD活動支援センターとの協働や交流については十分に行えていないが、地域の老人会と連携をとり、学校行事に招いたり、手紙を書いたり、交流会を行ったりといった活動を行うことができた。教育委員会とは、ユネスコスクール子どもサミットへの取り組みを通じて、連絡を取り合い、発表資料の展示会に参加することができた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

今年度はユネスコスクール子どもサミットが大雪のため中止となつてしまい、他のユネスコスクールとの交流は実施できていないが、子どもサミットに向けては複数学年の児童が関われるように配慮し、代表児童のみではなく、校内に向けての発表の場を設け、自校の取り組みのみではなく、他校の取り組みの様子も伝え、広げていきたいと考えている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校ではユネスコスクールとしての活動を行う際、体験活動を積極的に取り入れ、実際に金沢の歴史遺産や地域の自然保護区を訪れて見たり聞いたりすることや、和菓子職人や金沢仏壇職人などの地元の講師を招いて生の声を聞きながら、児童が質疑応答を通してより深い学びができるようにして学習を進めている。各学年の総合的な学習の時間との結びつきも強く、年間を通しての継続的な取り組みができるようにしている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

来年度も本校では、「人と地域を大切にし、共につながり合おう！」を学校テーマとし、学年ごとに十一屋校区や金沢にある様々な素材と関わりながら、環境・人・伝統や文化に関する学習に取り組んでいこうと考えている。その際には、今年度に協力して頂き学習を深めて下さった地域の人材や地域での体験学習を継続してできるよう教育課程にしっかりと位置づける。環境・人・伝統や文化について持続可能な社会の構築を実現するための学習という捉えを職員で共通理解し、伝統や文化を大切にする心を育んでいきたい。